



# 「小中一貫校構想」の説明会を終えて

北条地区小学校建設委員会 副委員長 吉川 公一

七月八日北条南・北小学校体育館で開催された小中一貫教育説明会に P T A や一般の方々八十人ほどが参加し、小林教育長の説明の後、熱心な質疑が行われました。

教育長は「小中九年間の義務教育は一貫して考えるのが理想であり、柏崎市は独自の一貫教育として 3・3・3 運動を展開してきた。北条地区の統合校舎については中学校に隣接して建設し、生活や地域に密着した本物の教育を目指したい」と熱い口調で語っておられました。北条地区はこれから統合校舎を新設するという状況ですので、全市のモデルとなるような、学校・P T A・地域の三者が一体となった特色ある学校づくりに取り組むたいとする強

北条地区  
コミュニティ会  
振興協議会  
TEL25-3355

しんがい なゆ

い姿勢を感じました。  
一貫教育については柏崎市全地域で取り組むことが広報等で周知されていますが、北条地区の場合は今年度から実践に移せるものは開始し、二十二年度から本格的に実施、一部教科や行事の一環指導も検討するとしています。

校舎は中学校敷地内に体育館も含めて建設し、中学校とは廊下で結び一貫教育の実効を上げたいとのこと。二十五年度から建設に着手し、二十六年四月から新校舎で授業開始というスケジュールになつていますが二十七年にずれ込む恐れもありそうです。

以下の通り多くの質疑要望がありました。が詳細につきましては改めてお知らせしたいと思います。

- もつと早くきちんとした説明がほしかった。
  - 一定の学力が確保できるのか？
  - デメリットはないのか？
  - 地域の人が利用できる校舎にされたい
  - グラウンドの使い方は？
  - 小学校の卒業式はあるのか？
  - プールの使用は？
  - 学童保育は？
  - 校舎は木造にされたい。
  - もつと具体的な説明がほしい。
  - 避難所として使えるか？
  - スクールバスの見直しを。 等々。
- 皆さまのご意見を建設委員までお寄せくだ

## つららなすの出荷始まる

つららなすの会  
会長 品田 勇雄

梅雨明けが遅れている今年の異常天候は、稲だけでなく全ての野菜に影響を及ぼしているようです。つららなすにとつても、まぶしい太陽がまちどおしい今日このごろです。

収穫は昨年より一週間遅れて七月中旬から始まり、初出荷先は、まだかまだかと待っていてくれた東京新宿のなだ万さんでした。現在はなだ万さんほか、今年三月、幕張メッセで開催された国際食品見本市でサンプルを希望されたお客様と商談を進め、納得されたお客様に発送しています。

私たちのこだわりは、単に生産や消費量の拡大ではなくて地域の誇りあるブランドとして安心・安全の希少性ある地域野菜に育てたいと思つています。そのため今年、栽培者全員がエコファーマーを、うち2人の栽培者と共同ほ場が県認証を取得しました。

生なすの販売は現在「暖」だけですが、市内でも取り扱っていただけのスーパーと現在契約中です。今年はずいぶん、帰省客のお土産にご利用いただけますようお願い申し上げます。

## 「歴史ガイドボランティア養成講座」

七月三日から「歴史ガイドボランティア養成講座」が始まりました。

講座生は教育振興室の室員含めて二十五名。講師は年表や山城の冊子発刊等にこれまで一連のご指導いただいた平原順二先生です。講座生一同、九月十二日の「駅からハイキング」のガイドを目標にがんばっています。

